



高速しおり

令和元年
(2019)
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

梅雨期の運転に注意！

雨の日の運転は。。。。

☆むやみに進路を変更しない

バックミラーに付いた水滴や他車の水しぶきなどで視界が悪くなり、走行車両の発見が遅れることで事故の危険性が増加します。



☆速度を落として車間距離に注意

雨の降り始めは特に路面が滑りやすくなります。スピードを落とし、前車との車間距離は長目にとりましょう。



☆急ブレーキ急ハンドルは厳禁

雨で路面が濡れているときの摩擦係数は、乾燥時の2分の1となり、非常に滑りやすい状態です。

☆ライトを点灯する

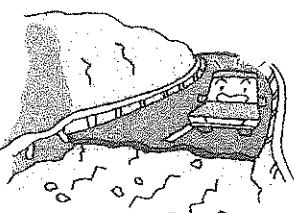
雨の日は薄暗くなり前方車両が見えにくくなります。ライトは早めに点灯し自車の存在を知らせましょう。



ゲリラ豪雨に注意！

近年、突然の局地的な豪雨いわゆる「ゲリラ豪雨」が頻繁に発生しています。雷を伴う、「これまでに経験したことのない大雨」が、土砂崩れや洪水等を引き起こし、甚大な被害をもたらします。

山間部を通過する高速道路では、ラジオ放送はもとより高速道路に関する地域情報に注意し、ゲリラ豪雨の発生を予想する警報等が発信された時は、迷わず直近の P A · S A 等安全な場所へ早期に避難するなど、自然災害への対策に心がけて下さい。



交通事故死傷事故発生!

発生日時：5月24日午後4時20分頃

発生場所：草津市笠山の名神高速道路上り線草津ジャンクション付近

発生状況：観光バスが渋滞停止中のワゴン車に追突、他2台に玉突き追突

被害状況：追突されたワゴン車の同乗者1名が死亡、他14名が重軽傷

【高速道路での追突事故を防ぐポイント】

- 常に前方を注視し、前車の動きに注意しましょう。
- 常に適正な車間距離を保って走行しましょう。
- 先行車両には不用意に接近しないようにしましょう。

全席シートベルトの着用徹底！

～発進する前にみんなで声かけを～

チャイルドシート

72.0%
全国 第14位
(平均66.2%)

運転席

一般道:38.2%で全国 第25位
(全国平均38.0%)
高速道路等:80.0%で全国 第12位
(全国平均74.2%)

シートベルトは
命を守るために
「印服」



全国調査結果によると、シートベルトの着用率は、運転席および助手席の着用率はともに90%以上ですが、後部座席同乗者の着用率は、運転席、助手席同乗者に比べ低い状態でした。

運転席

一般道:98.5%で全国 第35位
(全国平均98.8%)

高速道路等:99.7%で全国 第26位
(全国平均99.6%)

助手席

一般道:95.5%で全国 第31位
(全国平均95.6%)

高速道路等:99.2%で全国 第15位
(全国平均98.5%)

シートベルト着用率（平成30年10月JAFと合同の全国調査）
チャイルドシート使用率（平成30年4月JAFと合同の全国調査）